

## 地方公共団体金融機構 第84回代表者会議会議録

### 1 日時及び場所

#### (1) 日時

令和8年3月18日(水) 11時00分～11時45分

#### (2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室

### 2 出席委員の氏名

議長	河野 俊嗣	(ウェブ会議システムを通じての出席)
委員	牛越 徹	(ウェブ会議システムを通じての出席)
〃	棚野 孝夫	
〃	小幡 純子	(ウェブ会議システムを通じての出席)
〃	神野 直彦	
〃	池田 晃治	

### 3 議事の概要

別紙のとおり

### 4 議決した事項及び賛否

議案1	令和8年度事業計画	全員賛成
議案2	令和8年度予算	全員賛成
議案3	令和8年度資金計画	全員賛成
議案4	収支に関する中期的な計画	全員賛成
議案5	地方公共団体金融機構の定款の変更について	全員賛成

以上

地方公共団体金融機構

代表者会議議長 河野 俊嗣

## (別紙) 議事の概要

審議に先立ち、ウェブ会議システムにより、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認。

### 1 開会

委員長は、本会議は、地方公共団体金融機構定款第10条第1項に規定する定足数に達しており、有効に成立している旨を報告したうえで、開会を宣し、議事に入った。

### 2 議事

- (1) 議案1 令和8年度事業計画(案)
- (2) 議案2 令和8年度予算(案)
- (3) 議案3 令和8年度資金計画(案)
- (4) 議案4 収支に関する中期的な計画(案)
- (5) 議案5 地方公共団体金融機構の定款の変更について(案)
- (6) その他報告事項

事務局 (議案及び報告事項について説明)

委員 資金調達については、昨今の金利上昇局面が続く厳しい環境の中で、様々な知恵と工夫を凝らしていただき、低コストで安定的な調達に尽力いただき感謝。また、貸付計画においては、昨年度補8.8%増額し、特に上下水道事業、病院事業の資金を確保していただいております。

委員 社会保障制度改革国民会議における給付付き税額控除などの地方財源や中東情勢の不安定化による価格高騰への対策の必要性などの課題に加え、金利上昇が続く中、国において大型補正予算が編成された際の補正予算債による金利負担が地方としては心配されるが、機構の考え方を教えてほしい。

理事長 補正予算が編成された際には、機構資金について積極的な対応をし、長期かつ低利の資金融通を行うことで、地方公共団体の金利負担に配慮していく予定。

委員 地方支援業務の調査研究において、R8年度新たに地方財政史プロジェクトが始動することだが、時宜にかなった取組と思う。どのような構想か伺いたい。

理事長 地方財政史プロジェクトについては、地方財政審議会の歴代会長に加え、当機構の歴代理事長の計6名で編集委員を構成し、その下に様々な分科会を設置し、執筆を進めていく。

- 委員 事業計画については健全な経営をしており安心している。  
上下水道については、道路陥没事故の例など、上下水道管の老朽化が待ったなしの状況であり、その対策には資金が必要になるところ、機構が適切に支援していくことが重要。
- 委員 機構は、地方公共団体の財政面におけるセーフティネットとして、非常に安心感を与えていただける存在。  
近年、防災対策や社会インフラの更新などの様々な課題が一気に出てきており、財政運営もシビアになってきている。そのような現状を踏まえ、今後、長期かつ低利な資金融通をより一層お願いしたい。
- 委員 世の中がめまぐるしく変化する中、その変化に追いつくことが難しい小規模な地方公共団体もある。そうした中で、DXや業務の標準化、AI活用などの新しい事柄に対して、地方の良き相談相手として、スピード感をもったアドバイスをいただけるよう期待する。
- 委員 世の中の様々な環境が変化している中、機構の使命は大きくなっている。  
国際情勢が不透明な状況において、R8年度、新たに2年債を発行することは、社会情勢の変化に柔軟に対応している。
- 委員 地方財政史について、変化の大きい時代では、長期的な視点で物事を見るのが重要と考える。将来、政策を立案する際の参考としていただきたい。
- 委員 世界的な地政学リスクが高まっており、金利、為替ともに不透明感が高い。そうした中で市場環境に留意した柔軟な調達を行う資金計画となっており、市場は好感と思う。
- 委員 民間のプロジェクトでも、物価高騰や人手不足によって事業の延期や規模縮小といった例が出てきているが、社会インフラである上下水道事業や公立病院事業などは、地域住民にとって優先順位が高い事業であるところ、機構には、引き続き安定的に低利で長期の資金供給をお願いしたい。
- 委員 人口減少に伴い、地方公共団体においても担い手不足が危惧される中、機構の地方支援業務はこれまで以上に重要であると考えます。地方公共団体の生産性を上げていくため、今以上にDXやAIの活用など、地方支援業務の強化をお願いしたい。
- 委員 様々な環境変化や地方公共団体のニーズに的確に対応し、堅実な運営が行われており、感謝している。

委員 地方公共団体の担い手不足は喫緊の課題であり、地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業の拡充を図ることは大変ありがたい。また、地方財政史プロジェクトや研究プロジェクト「地方財政からみた社会保障政策」は、時宜を得た取組であり、成果を期待している。  
引き続き様々な変化に対応して着実な運営を行ってほしい。

議長 議案1から議案5について、原案のとおりとしてよろしいか。

(全員賛成)

議長 議案1から議案5について、原案のとおり可決する。

### 3 閉会

議長は、議事を終了し、閉会を宣した。

以上